

2026/9/23 (水)
易しい科学の話

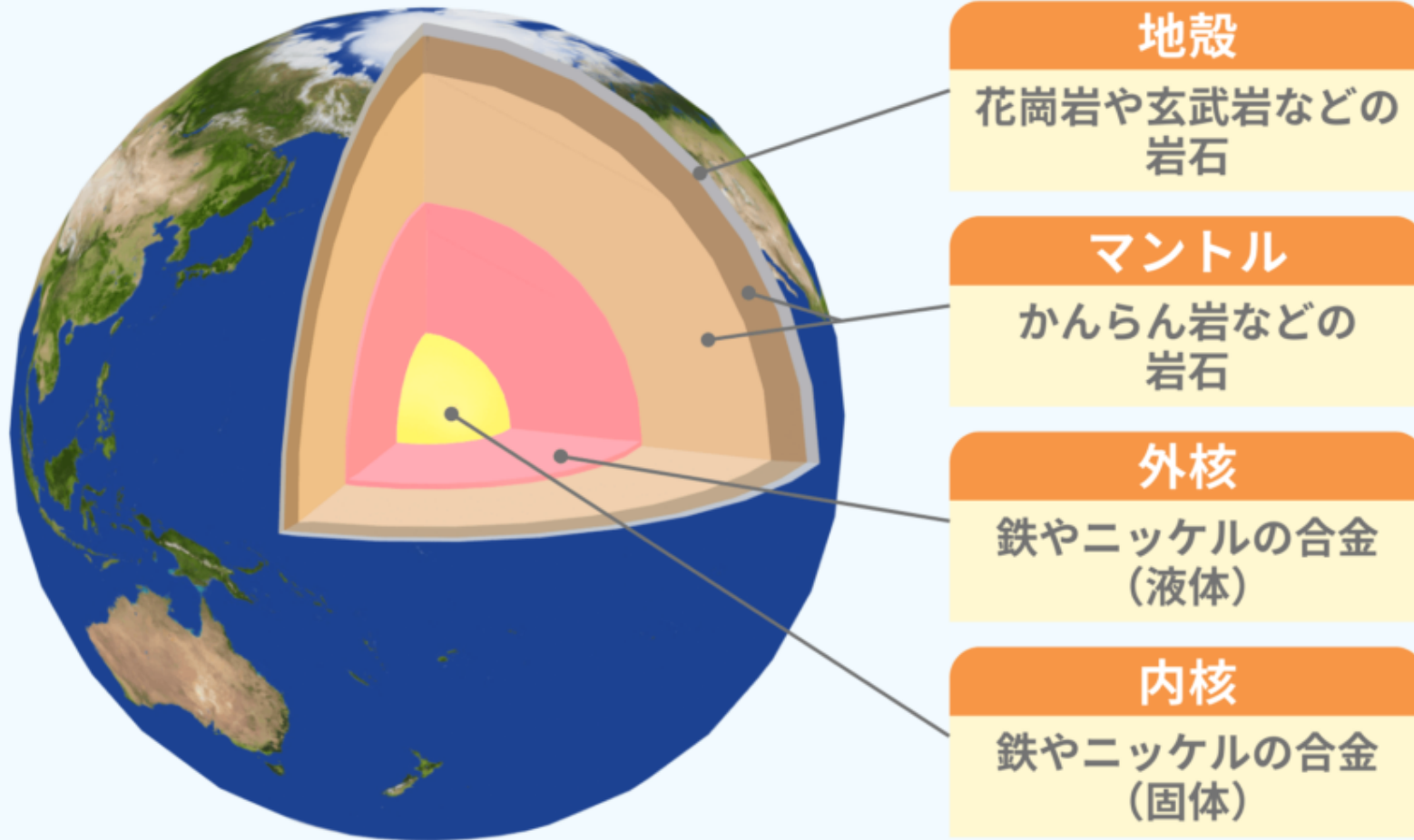
震度、断層、プレート、緊急地震速報 地震は何故起こる

1. 地球内部の構造
2. プレートができ、動くメカニズム
3. プレートの世界地図
4. 海溝型大地震の発生のメカニズム
5. 緊急地震速報について
6. スロースリップとは？
7. 地震は予知できるのか？、
8. 懸念されている南海トラフ地震とは？
9. 直下型地震とは？
10. 福井の活断層。
11. 福井地震はまた起きるのか？

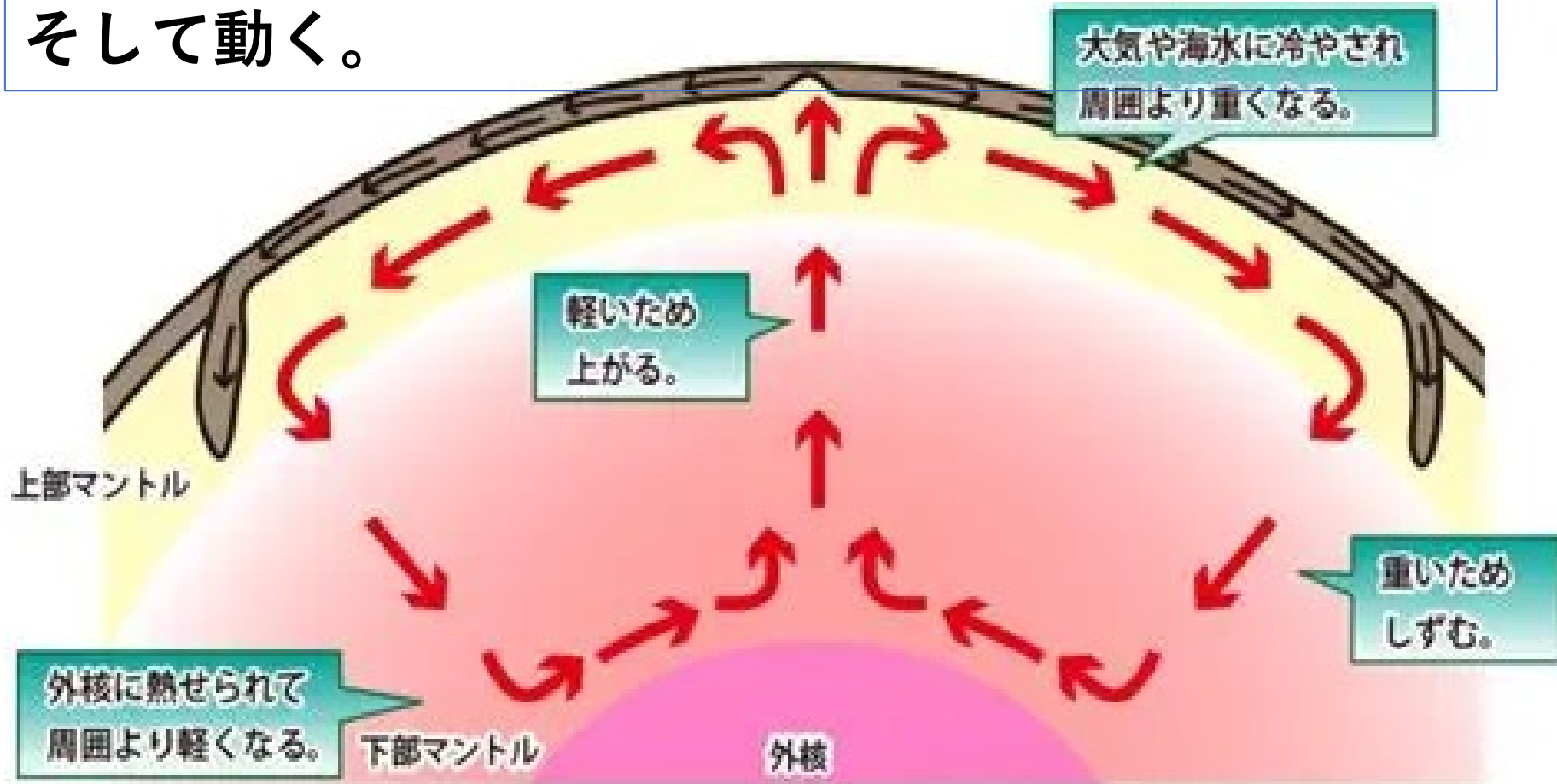
吉岡 芳夫

地球の内部構造

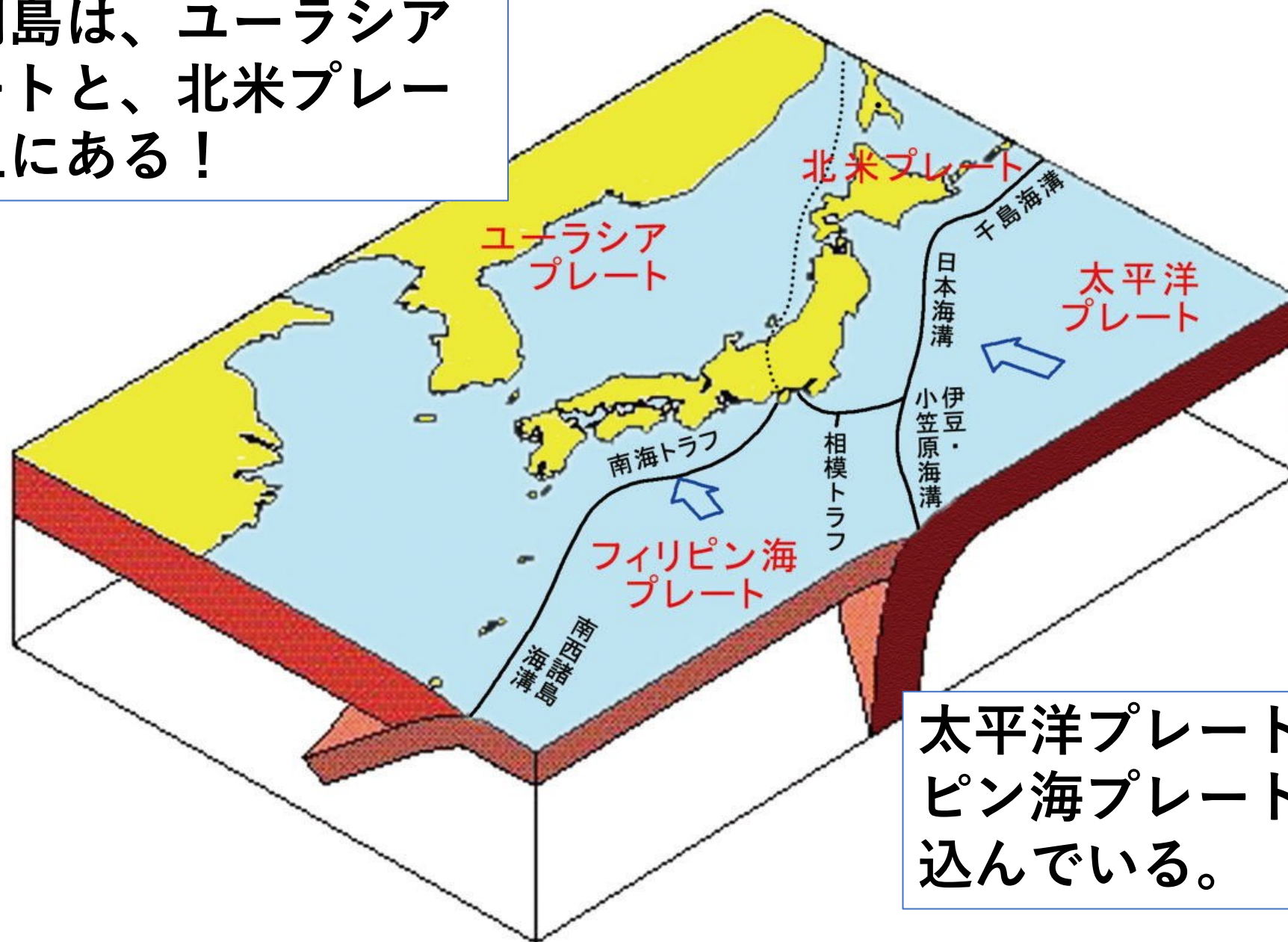
構成する物質 & 状態が異なる！



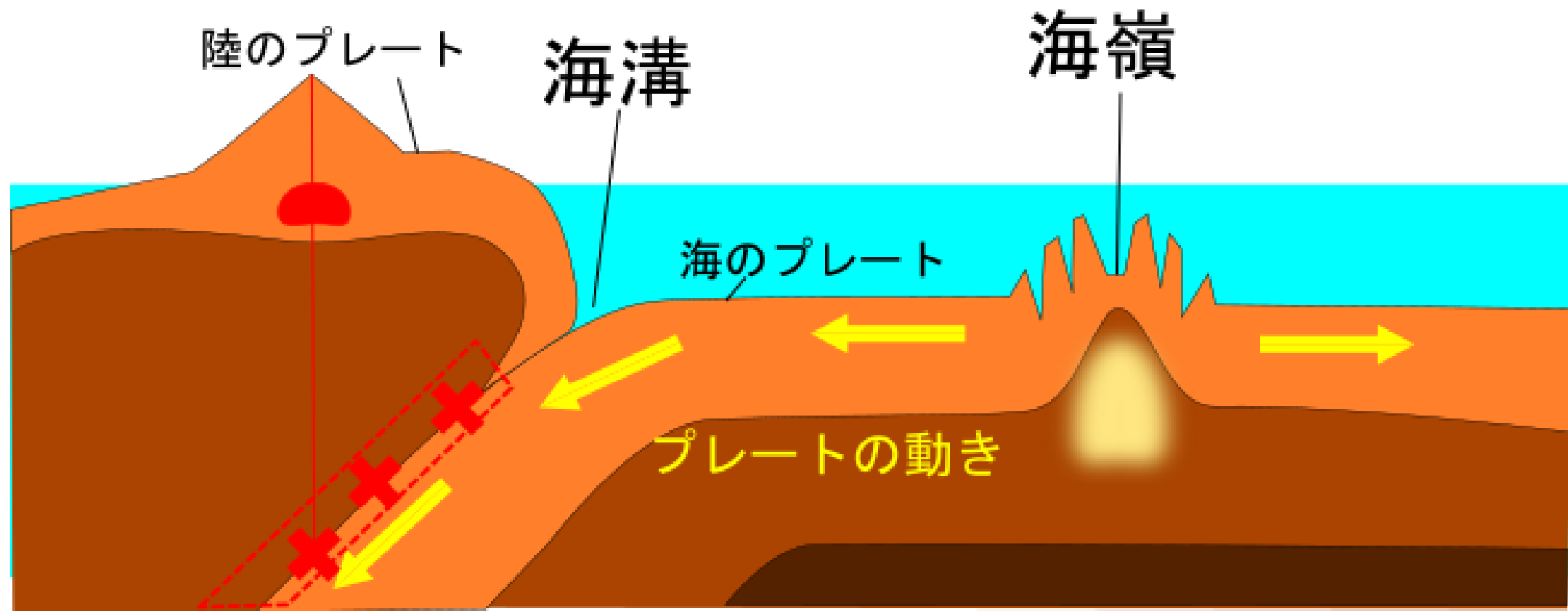
地表や海底に、地球内部の熱で熱くなったマントルが上がり、冷やされて巨大なプレートを作る。そして動く。



日本列島は、ユーラシアプレートと、北米プレートの上にある！

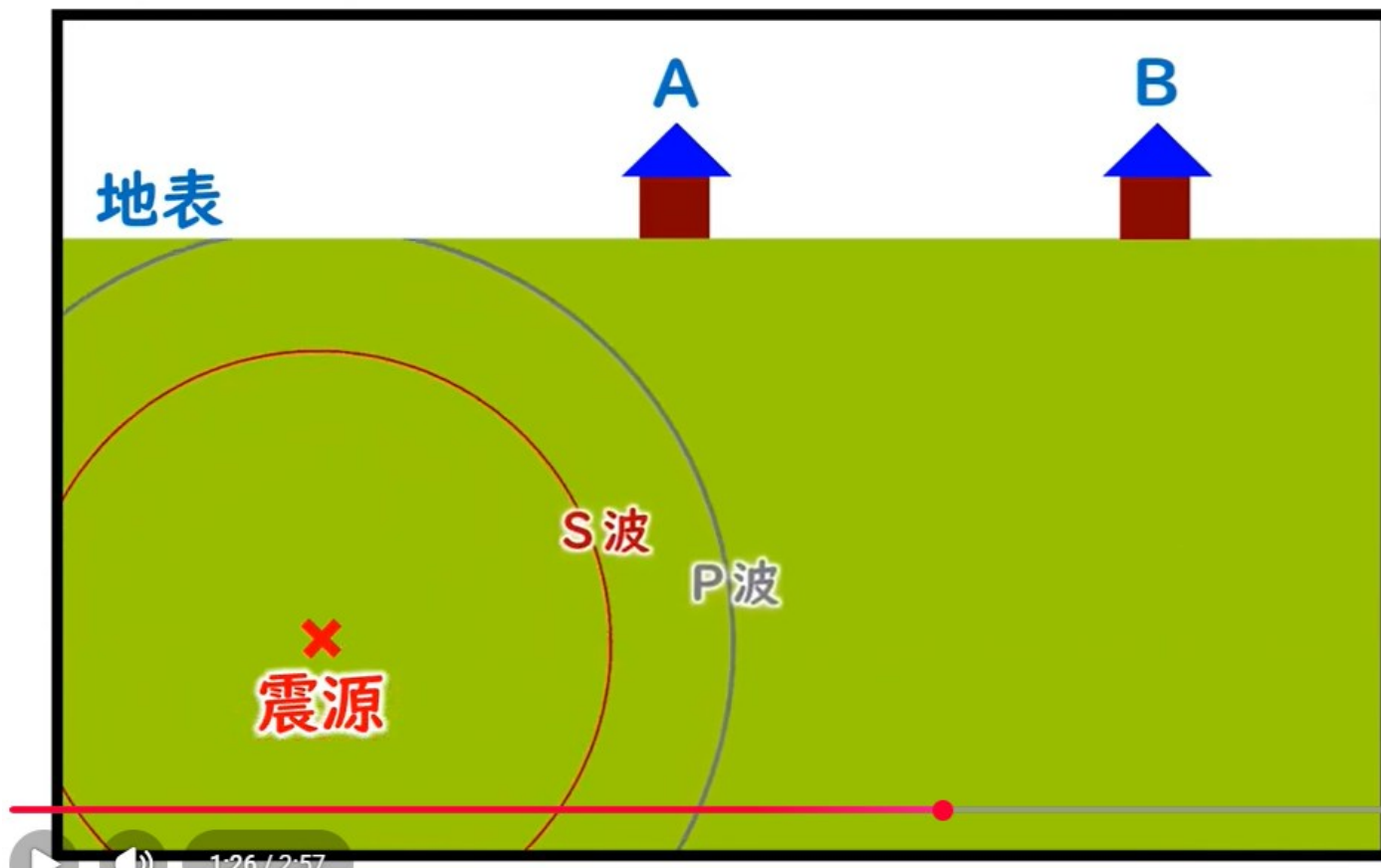


太平洋プレートとフィリピン海プレートが、潜り込んでいる。



地震が起こりやすい場所

「地震波 P波とS波」



緊急地震速報で わかること

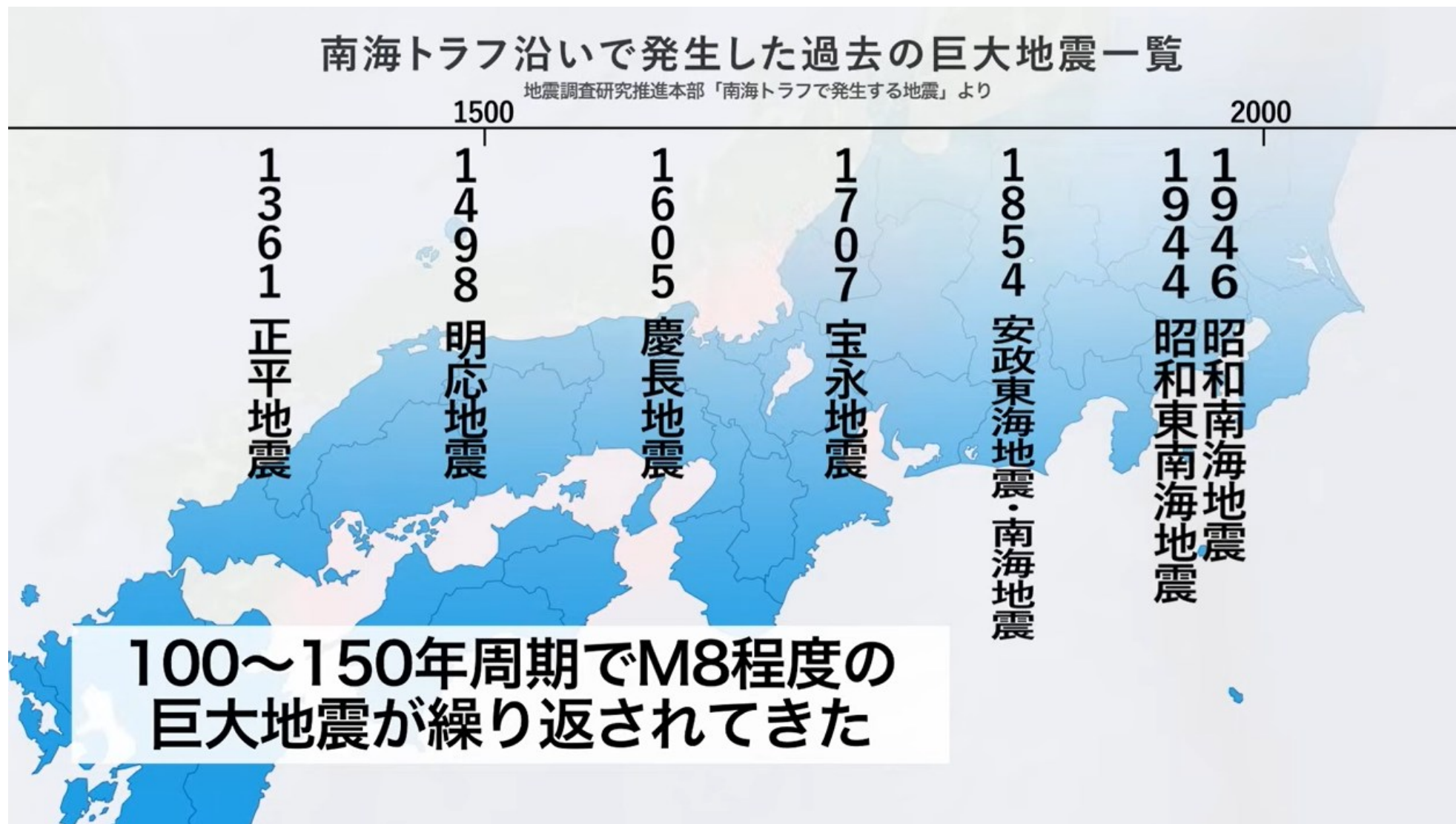
1. 地震のおおよその大きさ
2. 震源地からの距離

「スロースリップ」は巨大地震の前触れか～「イッポウ
スペシャル防災列島～震災6年 “備え”の今」より



懸念されている東南海地震について

[【南海トラフ巨大地震】
\(日本語版\)](#)



首都圏の直下型地震の想定震源マップ



北陸地方の過去の地震災害



福井平野東縁断層帯

- 福井平野東縁断層帯は、福井平野の東部から日本海沿岸にかけて分布する活断層帯で、主部と西部に分かれます。
- 主部は石川県加賀市沖合から福井市まで南北に約45km延び、左横ずれかつ東側隆起の逆断層です。
- 西部は1948年の福井地震の震源断層で、北北西－南南東に約33km延び、左横ずれが卓越し、地域によって東側または西側隆起成分を伴います。
- 主部では平均活動間隔が約6,300～1万年で、最大マグニチュード7.6程度の地震が発生する可能性があります。
- 1948年の福井地震では最大2mの左横ずれと0.9mの東側隆起が生じたと推定されています

2026/9/23 (水)
易しい科学の話

震度、断層、プレート、緊急地震速報

地震は何故起こる

終わり

吉岡 芳夫